

ダイレクト型自動車保険とマイカー共済での比較!!



ソニー損保は、最新の自動車保険ランキング(オリコン顧客満足度2021)にてダイレクト型(Webサイト・電話等で直接契約)で No.1 の支持を集めている自動車保険(任意保険)を扱う損害保険会社であります。

今回は、『マイカー共済』と『ソニー損保』での様々な角度からの比較(例)をしながら、今後の組合員の皆さんの「自動車保険(任意保険)」に関する認識が少しでも変わり、より納得をして頂いた上でのご検討(ご契約)をされたら幸いです。

マイカー共済とソニー損保での補償内容(サポート面)等の総比較表

内 容	マイカー共済	ソニー損保
人身傷害補償	5000万円	5000万円
対人賠償	無 制 限	無 制 限
対物賠償	無 制 限	無 制 限
ロードサービス	24時間 365日	24時間 365日
レッカーサービス	100kmまで無料	100kmまで無料
宿泊費用サポート	無 し	全額負担
帰宅費用サポート	無 し	全額負担
ペット宿泊費サポート	無 し	最大1万円負担
レンタカー費用サポート	無 し	24時間まで負担

【見積例】



- 車種:ホンダ/オデッセイ
- 年齢条件:26歳以上
- 等級:14等級
- 家族限定:本人・配偶者のみ
- 使用目的:自家用(家庭用)
- 走行距離:年間約7000km
- 免許の色:ゴールド



【見積結果:車両保険付きの場合】

保険料(掛け金)
マイカー共済 ⇒ 69,290円
ソニー損保 ⇒ 48,930円



【見積結果:車両保険無しの場合】

保険料(掛け金)
マイカー共済 ⇒ 37,720円
ソニー損保 ⇒ 22,370円



※ 見積結果については、細かい詳細および調査実施(期間・年度)により、金額および補償内容等は現在とは一部異なる場合がございますので、予め御了承下さい。

マイカー共済には『ゴールド免許割引』および『走行距離による割引』等が無いので、リスクが細分化されている"ダイレクト型自動車保険"を扱うソニー損保さんの方が、使用目的に応じた(遠距離ドライブ・ペット対応等)備えや万が一の際の宿泊費用(帰宅費用)およびレンタカー費用へのサポート、事故現場には「セコム」がいち早く現場へ急行し(追加費用無し)迅速な対応も含め、インターネット割引等が適用されるなど"時代のニーズにあった内容度"にも、保険料(掛け金)だけでなく「意外に大きな差(魅力)」を感じます。

最後に、自治労・こくみん共済coop全体の「コストパフォーマンス」は非常に優秀であり、顧客対応も丁寧で親切であるとの評価がある一方で、事故対応について目を向けてみると、Web上では『事故対応をする担当者レベルが低い!!』という批判が、各自動車メーカーのディーラーおよび一般自動車業界等からも『期待しても無駄!!』『過失割合に固執しがち!!』等の意見が数多く見受けられます(事故対応担当者に対する批判がほぼ集中!!)。

つまり、事故対応における「専任スタッフ」等を配置し、経験・事故対応実績等に慣れている(優れている)者を揃えている一般保険会社(取扱代理店等含む)や損保会社には、絶対的に敵わない面が正直あると思います。

自動車保険(任意保険)は、万が一の時(事故)の対応こそが全てであり"一番大きな差が現れるもの"であります。ダイレクト型自動車保険には「顔の見えない担当者との対応に不安」があり、一般保険会社には「サービス・経験・実績等の総比較が難しい面」があり、保険代理店には「事故の際に駆け付けてくれる安心感はあるが保険料割高」があるなど……それぞれにメリット・デメリットがあるからこそ、しっかりと自分自身で見極めましょう!!

苦情の申し出先と「裁定」「仲裁」の申し立てについて~自治労・こくみん共済coop共済推進本部~

組合員の皆さんが、安心して「各種共済」を御利用して頂き、より満足の頂けるサービスをご提供するために、『苦情の受付窓口』を開設。ご相談・ご不満等があればスグに連絡を!!

こくみん共済coop 自治労共済推進本部 03-5276-0700 [平日:9時~17時15分]



また、苦情等の申し出に対し「自治労・こくみん共済coop」で解決できない場合、第三者機関(公益財団法人:日弁連交通事故相談センター、公益財団法人:交通事故紛争処理センター、一般社団法人:日本共済協会・共済相談所)がそれぞれ対応をいたします。

Point

自賠責共済(保険)に入ってますか?バイク等も含めて法律で処罰されます!!



じちろうマイカー共済 とくみん共済coopがお引き受け

交通事故を起こした際に、自賠責保険(強制保険)の補償範囲では不十分なため、万が一に備えて十分な補償等を得られるように入社するのが『任意保険』となります。そこで、自治労・こくみん共済coop(全労済)の運営する『マイカー共済』に関して、改めて組合員の皆さんに知って頂くために簡単にご説明をさせていただきます。

組合経由の加入により、組合員さんには職域掛金適用で団体割引等があり更にお得!!

他の民間保険会社が取り扱う自動車保険と比較しても「掛け金」が安く、補償内容もしっかりと設定されているので、新しくクルマを購入される場合(中古車含む)や所有するクルマが変更される場合等で自動車保険(任意保険)を見直したい方・悩んでいる方には、是非とも一度お見積もりを自治労(こくみん共済coop)にてご検討してみてください。なお、金沢市従労HPでも簡単にご自分でお見積もり等ができます。

<マイカー共済と一般自動車保険の違いについて>



一般的な保険会社さんは「利益」を追求するために保険を『商品』として売る仕組みですが、自治労・こくみん共済coopの場合には『営利目的ではない』組合員同士が助け合う目的により運営されており、結果的には掛け金*が安くなっています。

※ 自治労・こくみん共済coopでは「保険料」という言葉ではなく「掛け金」という言葉で表現します。補償内容を比べますと、一般自動車保険ほどのバリエーション的なものが無いので、細かな部分でのカスタマイズが出来ない部分も多いですが、特約付帯(弁護士費用補償・自転車賠償責任補償・交通事故危険補償等)できるもの、ロードサービス(24時間365日対応)もあり、特約による割引としても以下のものがあり、これらを利用してマイカー共済においても保険料を抑えながらも"安心感"を得ることが可能となります。

【特約・割引について…クルマの型式等による割引も含む】

- ハイブリッド車割引
- 運転者本人・配偶者限定特約
- 人身傷害の被共済自動車搭乗中のみ補償特約
- 衝突被害軽減ブレーキ(AEB)割引
- 複数契約割引
- 新車割引
- 子供特約
- セカンドカー割引
- 福祉車両割引
- 運転者年齢条件(年齢限定)
- 団体割引

無事故が続けば「最大22等級」で64%割引が可能であり、掛け金が安くて安心感も大満足!!

マイカー共済も一般的な自動車保険同様に『等級』によって管理されています。いざ事故を起こして「保険」を利用すれば『等級はダウン↓』する仕組みには全く変わりはありません。

しかし、等級の『最大等級』には大きな違いがあり、一般の自動車保険には「20等級」までしか設定はありませんが、マイカー共済には『22等級*』までの設定があります。※ 20等級~22等級までの割引率は-64%で一律の割引率です!!

等級別の「掛金率」については、掛け金は1-5等級(+130%)から22等級(-64%)までに区分され、事故有係数適用期間により掛け金が割引・割増される仕組みです(原付自転車除く)。なお、この仕組みにより共済金をお支払いする事故の有無、事故内容、事故件数等により継続契約の際に等級および事故有係数適用期間が決定されます。初めてマイカー共済にご契約される場合には原則『6等級スタート』となり7%の割増率(前契約がある場合は-10%)が適用され、事故有係数適用期間は0年となります。

他にも「型式別掛金クラス」が設定されており、普通乗用車・小型乗用車・軽四輪乗用車等の基本補償および車両損害補償については、自動車の型式ごとの事故発生状況等に基づき決定された『掛金クラス』が適用されます。掛金クラスは普通乗用車・小型乗用車は1~17クラス(17段階)、軽四輪乗用車は1~3クラス(3段階)で別れており、年1回見直しを行い、型式によっては契約更新前よりも掛け金が引下げ(引上げ)となる場合がありますので御注意を。詳しくは金沢市従労組(共済福祉部)までお問い合わせ下さい。

その掛け金には「職域・地域別掛金区分」が設けられており、職域・地域の事故実績等に応じた掛金区分があり、職域の掛金には「労働組合」等の団体を經由して締結した契約(協力団体扱いに対する共済掛金に関する特約を付帯した契約)に適用される仕組みです。掛け金の払込方法は『年払い』が月払いに比べ5%割引です。

契約者(主たる被共済者)には、契約締結に際し『告知義務(告知事項)』が定められています。

- ◎ 契約者(主たる被共済者)の生年月日 …… 年齢によって掛け金が異なるケースがあるため
- ◎ 前契約の有無、事故の有無(件数) …… 保険会社(前契約)、保険期間、等級、事故有係数適用期間等



N市従労 NEWS

第169号
発行2021年5月1日
金沢市従労組 情報宣伝部

